



富范小学校



思い出を振り返り校歌を斉唱する参加者

10月29日、富范小学校（長内一校長）で閉校式が行われ、在校生106人をはじめ、保護者や地域住民、卒業生ら約300人が出席しました。

同校は明治9年7月に創立。今年3月までに5392人の卒業生を送り出しています。

式典で福島市長は「140年に渡り築き上げた歴史と伝統は消えることなく、新小学校へと受け継がれていきます。富范小学校の出身であることを誇りとし、大きく成長していつてくたさい」と式辞。その後、歴代の校長やPTA会長、学校教育の振興などに貢献した特別功労者ら36人に感謝状が贈られました。

全校児童106人がステージに並び、呼び掛け形式で同校の歴史や学校生活の思い出、校舎への感謝の思いなどを発表し、地域への思いを込め「ふるさと」を合唱。最後に参加者全員で校歌を斉唱し、地域に根差した長年の伝統を深く胸に刻みました。

また、廊下には各年代の卒業写真など昔の写真を多数展示。参加者は当時に思い浮かべながら見入っている様子でした。



富范小学校校歌



故・成田佐太郎さんから贈られた「大鷲」

富范小学校沿革史

明治	9年7月	富范小学校創立
	26年10月	富范字数分41番2号、42番地の東方崖下附近に5間×10間の校舎新築
大正	7年1月	裁縫室より発火し校舎、校具、書類等全焼
	7年10月	校舎新築 5教室・控室
昭和	41年4月	富范中学校を車力中学校に統合し、旧中学校校舎を小学校で使用
	48年11月	現在地へ校舎新築移転する
	51年9月	創立百周年記念式典挙行
平成	58年5月	日本海中部地震による被害で、理科室、家庭科室、体育館、玄関陥没する
	8年9月	創立百二十周年記念式典・記念祝賀会挙行
	19年4月	情緒障害児特別支援教育学級（サポートルーム）開設
	21年4月	知的障害児特別支援学級（ステップルーム）開設
	21年11月	交通安全優良学校として東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連名表彰される
	26年11月	本校PTA、「青森県教育長賞・青森県PTA連合会長賞」を受賞
	28年10月	閉校式

参加者コメント

松橋俊一さん(現PTA会長)

自分にとって、母校の閉校は清水分校、木造高校車力分校に続き3度目。車力中の校舎も新しくなり、自分が過ごした学校や校舎は、全て歴史を閉じることになります。地域の学校がなくなるのは寂しいですが、これからも子どもたちの未来のため、前向きに盛り上げていきたいです。

佐々木愛華さん(富小6年)

6年間お世話になった学校にありがたうの気持ちでいっぱい。新しい車力小学校に行く後輩たちは、

友達がたくさん増えて楽しいことも辛いこともあると思う。みんな仲良く頑張ってください。

松橋幸治さん

(特別功労者・松仙工業)

校歌にある「藪分丘」は現在のリバーの場所に学校があった名残り。当時、その校舎の前で体操をしたことを思い出します。現在もいろいろな立場として学校や児童と関わることができてうれしい。子どもたちの笑顔を絶やさないように、これからも地域ぐるみで支えていきたいです。



長内 一
校長

明治9年7月に創立された富小小学校は、これまで大正7年の校舎焼失や昭和58年の日本海中部地震による被害などありましたが、現在に至るまで140年にわたり富小地区の教育を担ってきました。今、富小小学校は「知・徳・体」のバランスが取れた勢いがあります。今年で閉校ということが大変残念にも思えるのですが、より環境も設備も整った新生「車力小学校」で、さらに力を発揮してくれ

るものと信じています。

閉校となりましても、これまでの歴史と伝統は統合小学校に確実に受け継がれていきます。そして、車力小学校と車力中学校の子どもたちが共に「未来を拓き、たくましく生きる力」をより一層力強く育んでいきますよう、保護者の皆さま、地域の皆さま、学校関係者の皆さまには、今後更なるご支援とご協力を賜りたく申し上げますとともに、新生「車力小学校」の発展と皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます。

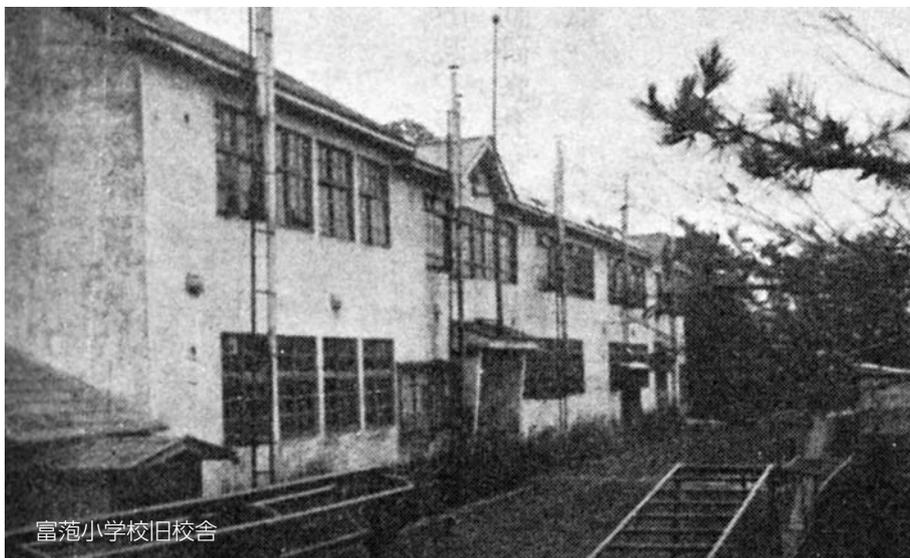
これまで長きにわたり富小小学校の発展にご尽力賜りました歴代PTA会長をはじめ多くの関係者の皆さまに、深く感謝申し上げます。子どもたちの未来が一層健やかなものでありますよう心からお祈りいたします。



廊下に貼られた写真を見て当時を思い起こす参加者

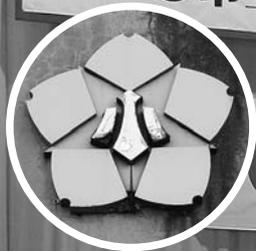


感謝状を受け取る特別功労者の松橋幸治さん



富小小学校旧校舎

つがる市立牛瀉小学校 閉校式



牛瀉小学校



『大切なもの』を合唱する全校児童

牛瀉小学校(山本貞規子校長)の閉校式が11月5日、同校体育館で行われ、在校生48人や地域住民ら約170人が出席しました。

明治9年10月に創立した同校は、昨年度までに4024人の卒業生を輩出しています。

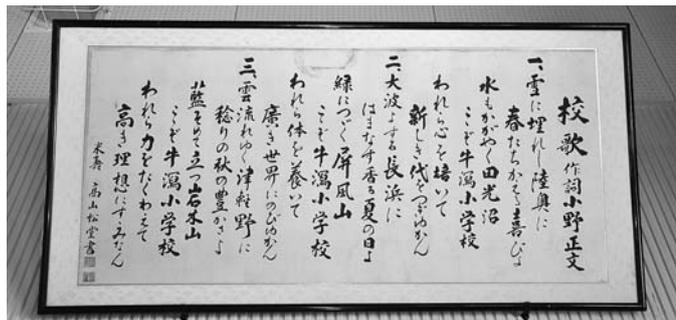
式典では福島市長が「春の田植え体験や虫送りなど、児童の健やかな成長を願う地域住民との絆を見て取ることができました。これも、長年献身的に本校を支えてこられた地域の皆さまのご支援の賜物であり、心より敬意を表します」と式辞。歴代の校長やPTA会長、地域の伝統行事「虫送り」を学校と共に創始した鳴海久さんから29人に感謝状が贈られました。

その後、ステージに並んだ児童が思い出や学校への感謝、未来への誓いを堂々と呼び掛け、卒業生の工藤閑さん(五所高2年)の伴奏で合唱。最後は参加者全員で校歌を斉唱し、地域と共に歩んだ140年の歴史を深く胸に刻みました。

式典終了後は、児童が田植え・収穫したもち米で炊いた赤飯を参加者全員に贈り、地域への感謝を伝えました。

牛瀉小学校沿革史

明治	9年10月	牛瀉小学校創立(牛瀉字瀉上の小山内形造氏宅地を借入)
	6年10月	現在地へ校舎新築移転
	18年7月	二宮尊徳像入魂除幕式を行う
	31年10月	創立80周年式典挙行、校歌、校旗制定
	51年8月	創立100周年記念式典挙行
昭和	56年11月	新校舎落成移転
	58年5月	日本海中部地震により、体育館フローリング、ステージ、校庭プール、80周年・100周年記念碑等が破壊される
	61年4月	車力村長より、「学校林の学校田利用について」許可される
	61年5月	学校田の開墾開始
	63年9月	交通安全指導優良校として、東北管区警察局長、東北交通安全協会長より表彰される
平成	元年6月	学習田、菜園植え付け後、PTA主催による虫送り行事に全校児童参加
	8年10月	創立120周年記念式典・祝賀会挙行
	9年10月	優良子ども郵便局東北郵政局長賞受賞
	10年10月	優良PTA文部大臣賞受賞(東京)
	23年9月	体育館耐震工事
	28年11月	閉校式



牛瀉小学校校歌



長年、児童を見守り続けた二宮尊徳像



伴奏を務めた工藤閑さん



山本 真規子
校長

江戸時代後期にはすでに寺子屋が開かれていた牛瀧。子どもたちへの教育が、いずれ人々のより良い暮らしを築く礎となることを説き、実践していた先人たちの思いは、明治9年創立の牛瀧小学校に引き継がれ、今に至っています。

牛瀧小学校では、毎年5月下旬に全校で田植えを行い、その後、五穀豊穡を願って虫送りを行います。準備に多くの時間がかかるこの行事が続いてきた背景には、秋の豊作を願うだけではない大きな意味があることを地域の方が教えてくれました。「忙しくても、子どもたちが喜んでくれればいい。そして、おらだちが頑張るせなが見で子どもたちはよく育ってくれると思ってるはんで、なんも大変でねえ。子の将来のために、地域が一丸となって牛瀧小学校を支えてきたその深い思いが、今もこの牛瀧に連綿と続いていることに気付かせてくれた言葉でした。牛瀧小学校は、そうやって140年間絶えることなく、家族と地域、教職員が手を携えて子どもたちを育んできたのです。牛瀧小学校が学校としての役目を終えても、このふるさとへの思いは、子どもたちの心の奥にしっかりと刻まれることでしょう。そしてまた、次の世代へ伝えられていくはずですよ。



みんなで植えて収穫したもち米で炊いた赤飯が参加者全員に贈られました



感謝状を受け取る第15代PTA会長の岡元克美さん



牛瀧小学校旧校舎

参加者コメント

工藤貴幸さん

(現PTA会長)

閉校は寂しいことだが、時代の流れなので受け入れるしかありません。子どもたちには、牛瀧小学校の伝統を引き継ぎ、新しい仲間たちと歴史を作っていくって欲しい。昔を思い起こすと、長い廊下の景色や古いストーブの匂いなどイメージが甦ります。虫送りなどの行事も絶やすことなく、地域ぐるみで継承していきたいです。

佐藤友省さん

(牛瀧小6年)

学校での思い出は、収穫感謝祭で自分たちが植えたもち米を収穫して餅つきして食べたことです。閉校するのは悲しいけど、最後の卒業生として140年の歴史を閉じられるのを誇りに思います。

工藤 閑さん

(卒業生・五所高2年)

この学校で学び、虫送りなど伝統行事に参加したことは、いい思い出です。母校の閉校式で伴奏を任されたのは光栄でした。自分の卒業式でも同じピアノを弾いたので、今日は当時を思い出しながら心を込めて演奏しました。



車力小学校



「ふるさと」を合唱する在校生

3校の最後となる車力小学校（川越しづ子校長）の閉校式が11月12日に行われました。式には、在校生40人や地域住民ら約160人が出席しました。同校は明治9年7月に創立。昨年度までに4356人の卒業生が巣立っています。

式典では福島市長が「閉校は誠に寂しい限りですが、来年の春に新しい車力小学校として歴史の一步を踏み出すこととなります。児童の将来を考え、年月をかけて幾多の課題を解決し、統合に導いてくださいました関係者の皆さまに深く感謝申し上げます」と式辞。続いて歴代の校長やPTA会長、永年勤続教職員ら51人に感謝状が贈られました。

その後、全児童がステージに整列。児童たちは今年4月に「ありがとう 輝く歴史の思いをこめて」というテーマを決め、思い出に残る最後の1年にしようとかんがばってきました。その1年を振り返りながら、学校や地域への感謝の思いを堂々と発表し、会場の参加者と一緒に「ふるさと」を合唱。最後は参加者全員で校歌を斉唱し、地域と共に歩んだ140年の歴史を深く胸に刻みました。



平成2年度卒業生が手で彫った木製の校歌



最後となる1年、思い出に残る年にしよと決めた在校生のテーマ

車力小学校沿革史

明治	9年7月	車力小学校創立（車力字花林18の2）
	27年	新校舎完成（車力字花林47）
大正	6年3月	村役場火災で校舎類焼
	6年9月	新校舎完成（木造町役場の庁舎、木造尋常小学校校舎を古物で購入）
昭和	19年12月	学徒動員、学校は工場化される
	20年12月	学徒動員解除
	31年11月	校歌制定、創立80周年記念式典
	44年4月	特殊学級を設置
	47年	第17回学研教育賞受賞（版画共同制作「車力農業史」30巻巻物）
平成	52年4月	新校舎完成移転（現在地）
	58年5月	校庭西側、南側に1500本の松（防風）植林
	61年6月	110周年親子植樹祭（桜30本、白樺100本）
	元年8月	本校PTA、東北連P優良賞受賞
	8年6月	創立120周年記念植樹
	23年11月	体育館耐震工事
	24年4月	複式学級設置
28年10月	全国へき地複式教育研究大会会場	
28年11月	閉校式	



感謝状を授与される第27代校長の大澤照雄さん



校歌を斉唱する歴代の先生たち



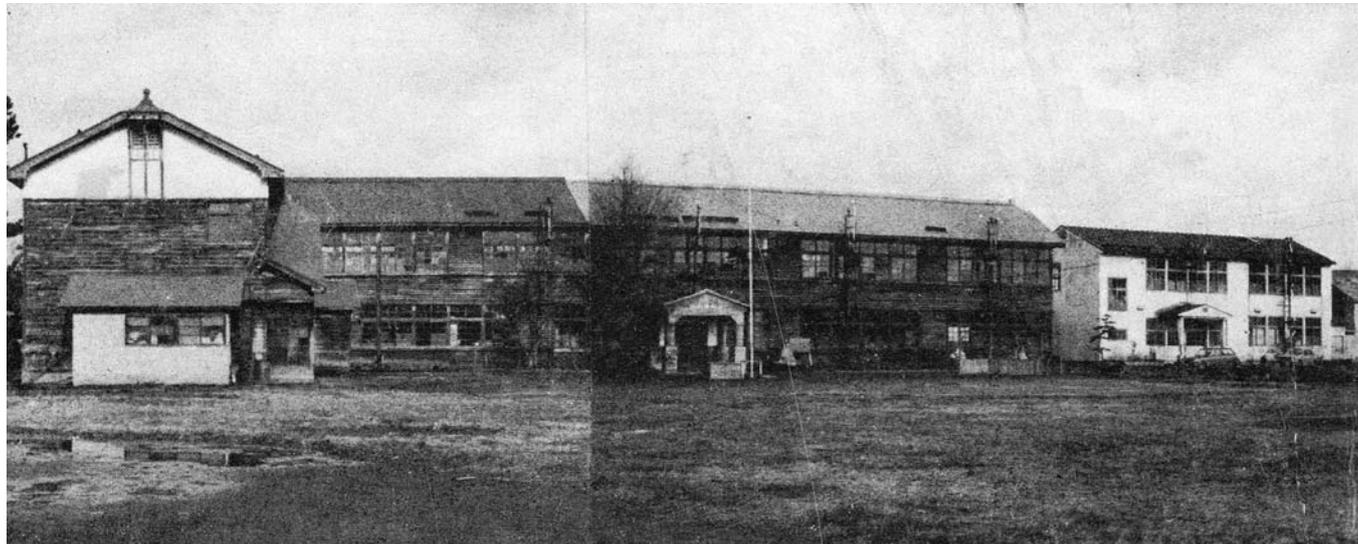
川越しづ子
校長

明治9年の開校以来、140年の長い歴史の間でも、常に変わらないものがありました。その一つは「学びたい」という子どもたちや、「伸ばしたい」という歴代の先生方のひたむきな情熱と努力であり、学習面や文化面での活躍はもちろん、健康・スポーツ面でも数々の功績を挙げてこられました。二つ目は「学びたい支えたい」という保護者や地域の皆さまの暖かい励ましでした。汗を流して植樹してく

ださった黒松は、今でも私たちを砂や風から守ってくれ、白樺や中庭の桜は、私たちの心を潤してくれています。この多くの方々の情熱や努力の積み重ねが、本校の歴史と伝統を作り上げてきたのです。

その歴史に幕を閉じることは、本当に残念な事ではありますが、歴史の終わりには新たな出発でもあります。

本校の校歌には、美しいふるさとの様子とともに、一生懸命に学ぶ子どもたちの姿が描かれております。その歌詞のとおり「心たのしく・ゆたかに・はずませ」学んできた在校生40名が、新生車力小学校や車力中学校という新しい環境でも、受け継がれてきた「車力魂」を発揮して、「純真で」かつ「たくましく」、力いっぱい励んでくれることと信じております。



車力小学校旧校舎

参加者コメント

坂本豪世さん

(現PTA会長)

真つ先に思い出すのは、体育の授業中に起こった日本海中部地震。下りてくる防火シャッターに取り残されまいと、みんな必死で非難したことを覚えています。少子化の今、学校統合はこの地域の教育と子どもたちのためには必要で、閉校は避けられません。みんなの力と3校それぞれの校風を合わせ、新しい学校生活を楽しんで欲しいです。

工藤 縞さん

(車力小6年)

たくさんさんの思い出をくれた学校に感謝しています。統合小学校で初の6年生となる今の5年生は、みんな力を合わせて後輩たちを引っ張っていつてください。

大澤照雄さん

(第27代校長)

24年ぶりに訪れましたが、体育館へ入ってびっくり。当時、私が考えた「やる気 和気 元気」の言葉が、今でも掲げられていました。教育の根底にある「生きる力を育む」ことは今も昔も変わりません。引き継いでくれていることを知り、感慨深いものがありました。

三校の誇りと伝統をひとつに、29年4月開校

新生「車力小学校」

明治9年の開校以来、140年にわたる輝かしい歴史と伝統を築き上げてきた富範小学校、牛瀉小学校、車力小学校。

その歴史は、単に学校の歴史だけではなく、地域の方々の歴史そのものでありました。

この歴史と伝統は、新生「車力小学校」に受け継がれ、醸成されていきます。

子どもたちが共に、「未来を拓き、たくましく生きる力」を一層力強く育んでいけるよう、温かく見守り、支えていきます。



【校章】

統合される三校それぞれの歴史や卒業生の思いを三つの輪で表現しました。

広がり行く三つの輪は統合により、さらなる地域の発展と繋がる未来への期待、のびのびと成長する子どもたちの明日を表します。

緑のフォルムは車力小を見守り支える地域の力、自然を表します。

車力小学校校歌

作詞 奥野 和夫
作曲 佐藤 生朗

一、クルマユリ咲く ふるさとの

実る稲穂に そよぐ風

希望ふくらむ その先へ

力のかぎり 踏み出そう

みんなと学ぶ 車力小学校

二、多くの歴史 乗り越えて

知恵を生かした 屏風山

未来ひきつぐ 大空へ

翼ひろげて 羽ばたこう

みんなと伸びる 車力小学校

三、眺めがつづく 浜辺には

たゆまず寄せる 白い波

夢いっぱい 海原へ

誇りを胸に 輝こう

みんなと共に 車力小学校

新校舎は車力中学校西側に隣接し、連絡通路で繋がります。これにより、さらなる小中連携の推進が期待されます

